

# 3・27三里塚へアーチス4

3月17日～19日の3日間、本部において駅や売店に配転された仲間を集め、営業対策会議を開催しました。今回は、営業に配転された仲間の「兼務」をはずすという不当な攻撃がかけられてくるなかで、動労千葉としてどういう方向で闘うのか、さらに、動労千葉の闘いを営業において展開し、劣悪な労働条件を改善していくのかなどを話し合いました。

だされた意見は次のとおり。

- ・駅では、昼メシも電話や客の対応におわれてまともに食えない。要員の不足が原因だ。

- ・「労連」の組合員は明けの日でも夕方近くまで職場に残っている。

- ・国労や鉄産労に対し、組織破壊が行われている。

## 『営業対策会議を開催 3/17～18』

# 三里塚で戦争の道を阻止しよう！

今全国各地で反戦・軍拡反対の闘いが展開されている。反対同盟三三年間の不屈の闘いと芝山選挙リ鈴木幸司氏の圧勝は全国の闘いに限りない力を与えている。この活性化が労働戦線に大きな影響と活を与えないはずがない。

三・二七全力結集・大成功をもって八八春闘勝利へ！

一一三里塚を守れ！

われわれは心底からの怒りと重大な危機意識をもって訴える。  
今こそ、「反戦・軍事大国化阻止の行動を」「成田空港の軍事基地化絶対許すな」と！  
米軍資料を見よ！それによれば「有事にさいしアメリカから一個師団あたり十万トンの兵器・弾薬・物資の輸送のためのベ二〇〇〇機の離発着が必要、輸送機C5Aギャラクシー等は四〇〇〇メートル滑走路が必要……」と成田の使用をはつきりと打ち出した。

加えて栗栖統幕議長は、青函トンネルの軍事使用を強調し、今年の夏に青函トンネルを使用して軍事演習にふみきるというのだ。

再び戦争の道を許すのか。それとも反戦・反基地・軍事大国化阻止の大衆的盛り上がりを創ぐりだすのか。そのカギが三里塚反対同盟を守り二期阻止の前進をかちとるのかに握られている。

「成田から戦闘機を飛ばせ」（元統幕議長  
矢田次夫発三ロ）

中曾根の日本不沈空母化をうけついだ反動竹下政権は就任早々、瓦防衛庁長官を前面におして無限の軍拡方針をうち出した。

今までの「専守防衛」をかなり捨て「前方対処・早期撃破」戦略に転換し本格的侵略型軍隊の形成へと踏みこんでいる。

その最大の目玉を成田空港の「首都防衛の軍事拠点化」と位置づけ、旅客機に不必要的四千メートル滑走路と空港の拡張リ二期工事が急がれているのだ！

**日刊動労千葉**

竹下政権の大軍拡！

1988.3.23  
No. 2782

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八（動力車会館）  
(鉄電)二九三五六・(公衆)〇四七二(22)七〇七